

6月朝会でのお話(令和3年6月15日)

みなさん、おはようございます。

6月。昨日、関東地方も梅雨入りしたとの知らせが届きました。

雨の多い、じめじめとした日が続きます。

なんだか気分が晴れませんね。

心とお天気は関係していて、晴れていると前向きに、曇ったり雨が降ったりすると落ち込む傾向があるそうです。

実はここ埼玉県が日本で一番、晴れた日が多い地域だそうです。

そしてその観測点は、ここ熊谷市にあります。

つまり熊谷は「晴れた日日本一」なのです。

ということは、皆さん、熊谷の子供たちは、日本で一番長く、明るく前向きな気分でいれる幸せな子供たちなのです。

ともあれ、雨の日が続きます。

外に遊びに行けず部屋の中で過ごす時間が増えます。

校長先生は雨の日のお部屋での過ごし方として、読書をするをお勧めします。

「それはある時には私に根っこを与え、ある時には翼をくれました。

この根っこと翼は、私が外に、内に、橋をかけ、自分の世界を少しずつ広げて育っていくときに、大きな助けとなってくれました。」

これはある時、

天皇のお母さま、美智子様のご自身の読書体験について語ったお言葉です。

ふと目にし、大変に心を動かされました。

そしてお言葉はさらに続きます。

「子供達が、自分の中に、しっかりとした根を持つために

子供達が、喜びと想像の強い翼を持つために

子供達が、痛みを伴う愛を知るために

そして、子供達が、人生の複雑さに耐え、

それぞれに与えられた人生を受け入れて生き、

やがて一人一人、私共全てのふるさとであるこの地球で、

平和の道具となっていくために」

江南北小学校の皆さんには是非、なるべく多くの機会に本にであってほしいと考えています。

どんな本を読めばいいですか？よく聞かれます。校長先生はこう答えます。

読みたい本を読んでください。

虫が好きな人は図鑑でも、もともと本が好きな人はちょっとお兄さんやお姉さんが読むような文字のたくさんある難しい本でも、文字を読むのがちょっとという人は、漫画の入ったような本でも。

読みたい本を読めばよいと思います。

そして本の楽しさを知って、そこから読む本を広げていってほしいと思っています。

心に豊かに根を張り、いつか空へ元気に飛び立つ立派な翼を持てるよう、皆さんの傍にはいつでも本がありますように。

校長先生のお話はこれでおしまいです。